

東みよし

44号
2017

3月議会号

交通ルール守って
横断歩道を渡ります。

—足代小学校—



2P 議員定数削減14人に

平成29年度予算

3P 一般会計 総額 76億7358万円

14P 一般質問に7人



議会の
詳しい情報が
閲覧できます。

から14人に削減

改正を

可決



議員発議により議員定数を削減

3月議会の最終日の17日、議会改革特別委員会の松浦明人委員長から提出された発議「東みよし町議会議員定数条例の一部改正」は、議員定数を現行の16人から14人に削減する条例の一部改正案で、全会一致で可決しました。

東みよし町議会では、平成18年の合併時に議員定数を16人と定めていましたが、人口の減少や類似規模議会の議員定数の動向などを背景に、一年前より全議員を委員とする議会改革特別委員会を設置。以来、議会の形やあり方について検討をし、議員数については現在の16人から14人にすべきであると決定したものです。

平成30年4月1日以後、初めてその期日を告示される町議会議員の一般選挙から施行するものです。



三好 正治



井添 伸一



川原 勝市



南 雅彦

議会改革特別委員会

定数の削減を決定

本年に入り、2回の議会改革特別委員会を実施し、議会のあるべき姿や、目指すべき方向性についての議論をしてきました。

昨年未までの議論の整理を行い、議員定数について、合併時に人口10000人当たり1人の議員数と申し合わせていたことや、県内町村議会の殆どが定数を12人または14人（※表①参照）としていることなどを背景として、一年間全議員で議論を続けてきました。

その一つの結果として、次回一般選挙（平成30年4月）より、定数を現行の16人から14人に削減することとして、

委員長 松浦明人



坂本 健二



横関 道恵



松浦 敬治



松浦 明人



議員定数を16人



議会改革特別委員会開催中

2人減の条例

表① 〈県内16町村の議員数〉 (平成28年7月1日現在)

町村名	人口	議員定数	議員一人当たりの人口
つるぎ町	9712人	14人	693人
板野町	1万3689人	13人	1053人
上板町	1万2537人	14人	895人
藍住町	3万4917人	16人	2182人
松茂町	1万5371人	12人	1280人
北島町	2万3076人	14人	1648人
石井町	2万6298人	14人	1878人
那賀町	8947人	16人	559人
神山町	5705人	10人	570人
佐那河内村	2488人	8人	311人
上勝町	1654人	8人	206人
勝浦町	5485人	10人	548人
美波町	7182人	12人	598人
牟岐町	4406人	8人	550人
海陽町	9918人	14人	708人
東みよし町	1万4841人	16人	927人



安藤 孝明



中川 祐司



川原 正一



加藤 義博



長谷川 吉正

議会機能という言葉で集約されますが、これを維持または向上を図るために、今後は付託方式や委員会構成など、さらに検討を進めます。また、定数の削減に伴い、議員一人ひとりの資質の向上や、議会運営のあり方などについても引き続き検討を重ねていきたいと考えています。

- デメリット
1. 人口の少ない地域の声が行政に届きにくくなることがある
 2. 人員が減ることにより行政のチェック能力が弱くなる可能性がある
 3. 多様な住民意見の反映が難しくなる場合がある
 4. 議決が少数意見で決まる場合が出てくるおそれがある

議員定数条例の一部改正案を平成29年第一回定例会に委員会発議すること決めました。
議員定数の削減には、メリットとデメリットの両面があります。今回は定数削減の背景及び理由として、次のようなものがありました。

メリット

1. 住民からの定数削減の声
2. 合併時からの人口減少
3. 全国及び県内の他の町村議会の定数削減の動向
4. 競争性を高めることによる議員資質の向上の必要性

これらを検討し、最終的に今回の定数削減となりましたが、一方で次のようなデメリットが考えられます。



坂本 正一



榎山 幸一



宮 賢司

町老連交通安全
ウォーキング大会にて

万円

地方創生の目標を具現化する予算編成

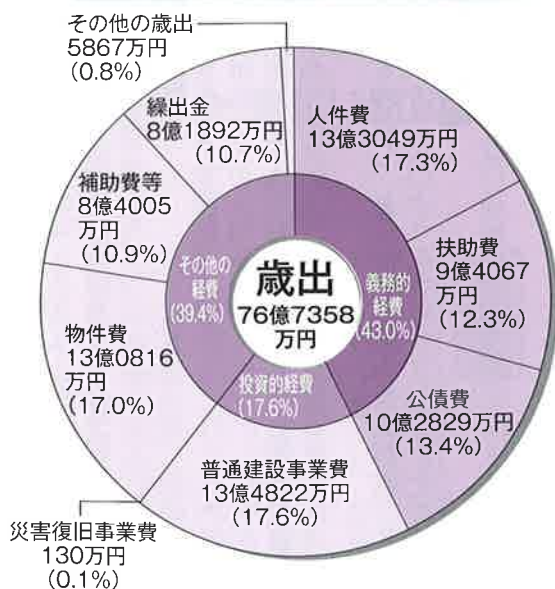
平 成29年度一般会計当初予算は、地方創生を目指す基本戦略となる「東みよし町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における「安定したしごとの創出」、「人の流れをつくる」、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える」、「町に活気をもたらす安心して暮らせる環境づくり」の4つの目標を具現化することを目的とした大型の予算となった。

歳入歳出予算の総額は、前年度より4.9%増額の76億7358万円。

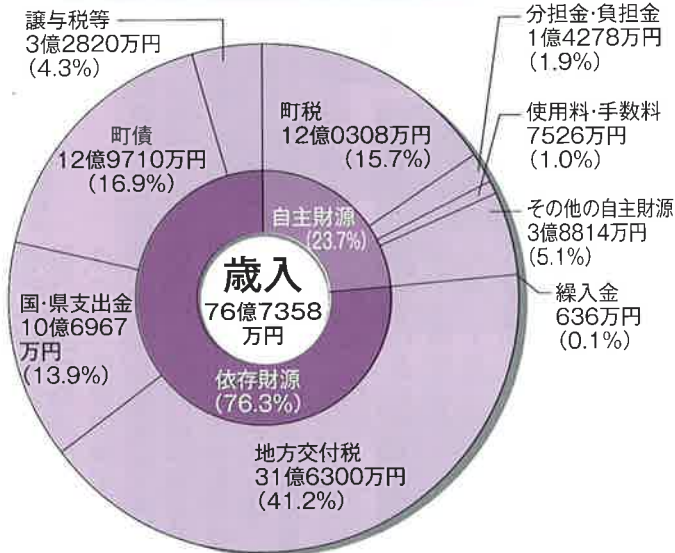
歳 入に占める自主財源は昨年と同水準の23.7%となっており、依存財源は76.3%と、国や県への依存度の高さが変わらない状況が続いている。町債については昨年度より3億390万円増加の12億9710万円となっており、活気あふれるまちづくりを念頭に置いた積極予算と言える。

歳 出では昨年に引き続き吉野川ハイウェイオアシスの施設改

一般会計 性質別 歳出



一般会計 歳入



農林水産業費

農業・林業・水産業の振興など



2億6438万円

衛生費

保健衛生、ごみの清掃、し尿処理など



5億1803万円

議会費

議員の報酬・議長交際費など



9429万円

民生費

社会福祉や生活扶助など



21億5187万円

総務費

役場の管理運営・財産管理・地域振興対策など



11億1212万円

歳出総額



76億7358万円

※金額はすべて千円未満を四捨五入しています。

平成29年度
予 算

わたしたちの暮らしに

一般会計 76億7358

前年度比 3億6049万円 増

特別会計・企業会計

予算額合計 22億5780万円

【特別会計】

会計名	予算額	予算額増減	採決の結果
国民健康 保健事業	14億5237万円	▲3668万円	全員賛成で可決
簡易水道事業	廃止 (水道事業に統合)	▲2億2337万円	全員賛成で可決
公共下水道 事業	1億9436万円	▲4508万円	賛成14、 反対1で可決
後期高齢者 医療事業	2億83万円	▲26万円	全員賛成で可決
三加茂財産区	4万円	0	全員賛成で可決

【企業会計】

水道事業(収益的収支)	2億4770万円	1億922万円	全員賛成で可決
(資本的支出)	1億6250万円	8035万円	

※東みよし町は、一般会計のほかに特定の財源を特定の支出に充てる独立した5つの特別会計と1つの企業会計を持っています。簡易水道事業特別会計を廃止し、平成29年度から水道事業会計に統合します。

修事業に2億2293万円を計上するなど、商工費が4億2486万円と、昨年から1億4982万円増額したほか、道路新設及び改良など土木費を昨年から1億2373万円増額の11億572万円計上するなど、まさに活気をもたらし、ひとの流れをつくり、安定したしごとを創出するとい

う地方創生の目標に向かって積極的な編成となっている。このような積極的な予算編成として、公債費においては従前から続く行財政改革の効果もあり昨年比3807万円の減を見込む一方、本年度も起債見込みは、昨年並みの12億9710万円としており、平成29年度末の地方債残高

見込み額は、106億3299万円と、増加を見込んでいる。
特別会計において、三好地区の簡易水道の上水道化に伴い、簡易水道事業会計を廃止し、水道事業会計に統合した。

その他予備費など
災害復旧費など

1000万円

教育費
教育・文化・スポーツ施設の充実など

5億8623万円

消防費
消防・水防・防災対策など

3億7271万円

土木費
道路・橋・町営住宅の建設、維持管理など

11億572万円

公債費
償還(借入金返済)など

10億2829万円

商工費
商業・工業の振興など

4億2486万円

平成29年度の

重点事業!

新年度の重点事業の紹介

平成29年度予算に盛り込まれた新規事業を含む重点事業の一部を紹介します。

5197万円



子どもはぐくみ医療費

町単独で18歳までに拡大

0歳児から15歳まで医療費の助成をしていますが、今回、町単独で助成対象年齢を18歳までに拡大します。全対象者は、約2100人。小学生以下1280人、中学生360人、18歳以下420人。現在、小学生以下に対して県補助金が1/2の1795万円出ていますが、今年度中に、県の支援が中学生まで拡大することにより、補助金が1/2出る見込みです。今回の助成拡大により、15歳から18歳・420人/720万円が増額となります。

380万円



消費生活相談

「みよし消費生活センター」設置、運営

振り込め詐欺、点検商法（リフォーム）、悪質な訪問販売、かたり商法など、消費生活全般に関する問い合わせに対応するため、三好市と共同で設置運営をします。三好市庁舎内に事務所を設置し、センター長は三好市の課長が兼務し、専門の相談員2名を雇用します。費用負担は、東みよし町/380万円、三好市/620万円の計1000万円で運営します。

2億2293万円



吉野川ハイウェイオアシス 施設改修事業

オアシス整備の改修工事も3年目に入り、平成29年度は、1階部分のリフォーム工事（物産・うどん亭）を実施します。平成27年度は、屋根の修理等に3000万円。平成28年度は、美濃田の湯（風呂）の改修に1億円かけています。さらに、平成30年度には、遊具をはじめ、外周りの工事を計画しています。なお、内装工事の完成に合わせて、平成30年3月には、リニューアルオープンを予定しています。

600万円

地すべり危険箇所

地すべりは、一度に広い範囲の地盤が動き出します。速度はゆるやかですが、発生すると大きな被害をもたらします。



ハザードマップ作成事業

現在、町内各世帯に保存版として配布している「東みよし町防災マップ」は、平成19年4月に作成した。しかし、今日までの間、県や町の防災計画の改訂、浸水想定区域、土砂災害データ等の見直しなどが行われています。そのため、最新の土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域、特定活断層調査区域や、吉野川洪水浸水想定区域の情報をもとに、町内の避難情報を網羅した新しい「東みよし町ハザードマップ」を作成し、全世帯に配布します。平常時から広く町民の防災意識向上を図るとともに、災害時の減災対策として活用を図ります。

1820万円



12分団消防車導入事業

普通ポンプ車は、消火活動の主力となる消防車両で、消火作業の水利として消火栓、防火水槽、河川などから水を取水し、内蔵しているポンプで高圧放水する消防車です。町内には現在、普通ポンプ消防車が6台あり、12分団（足代東）の消防ポンプ車は、平成元年に購入して29年が経ちます。町内で一番古い消防ポンプ車で、経年劣化もあり更新します。購入費1820万円。

8億2696万円



町道整備・新設改良事業

住民生活に身近で重要な役割を持つ生活関連道路の円滑な利用と安全確保のため、町道の改良舗装工事や橋梁の補修を行います。道路新設改良費では、新設工事/17件、継続工事/19件が計画され、整備工事請負費・整備工事設計委託料等で、6億9545万円。前年度より1億9559万円の増額。

1165万円



航空写真撮影事業

町内の航空写真を撮影し、固定資産税の算定等に利用します。今回は、町内平坦部全域が対象で、3年に1度の撮影となります。山間部は6年に1度の撮影を実施しています。今回から、写真の精度が向上し、270枚の撮影ですみ、従来（約400枚）より費用が減額されています。航空写真の撮影から、システムまでを委託します。

なお、この航空写真は、建設・産業・総務課でも使用されます。

800万円



教育用マイクロバス導入事業

現在、教育委員会ではマイクロバスを2台所有している。主に、中学校（三好・三加茂）の部活動を中心に使用している。更新するマイクロバスは、平成5年3月に購入し、18万キロを走行している。経年劣化の傷みもあり、新しいバス（昨年度購入マイクロバスと同程度の29人乗り）に更新する。昨年度に続いてのマイクロバス購入になる。

1773万円



防犯灯の全LED化事業

台帳管理システム化するのに合わせ全防犯灯をLEDに変更します。防犯灯をLED化することにより、消費電力を少なくし、地球温暖化に寄与することになります。LEDに変更に伴い、町内にある防犯灯約1500基の現状を調査します。今回、リース会社に調査・保守・工事を委託し、10年リース契約（年/679万円）を結び、工事・保守は町内業者に発注します。

※背景：東みよし町の大空を飛ぶパラグライダー

3月定例会は、3月7日から3月17日までの11日間の会期で開催しました。この定例会では、平成28年度の補正予算や平成29年度一般会計、5つの特別会計及び企業会計1件の当初予算、条例改正など合計33議案を審議し、いずれも原案の通り可決しました。

一般質問には7人の議員が登壇して、庁舎の統合問題や、高齢者の移動手段の確保などについて活発な質問を展開し、町の考えをただしました。

指定管理者を指定

施設の効率化のために

委員 「いやしの里増川笑楽耕」の里増川笑楽耕とは、どういふものか。

の

産業課長

平成17年度に増川小

学校が廃校になり、地元住民から増川小学校跡地に、地域振興の核となる施設を建設してほしいと要望があった。平成20年度に、元気な地域づくり整備事業で増川地区グリーンツーリズム施設「いやしの里増川笑楽耕」が完成した。木造校舎や研修交流室・バンガロー4棟を整備し、そば打ち・うどん打ち・炭焼き・農作業各種・五右衛

増川笑楽耕



門風呂体験や、川遊び・ほたる見学等ができる。また、共同炊事がありバーベキューなどができる。年間800人程度の利用者がいる。(バンガロー1200人・共同炊事場514人・体験施設119人)

地域の実情等を熟知している「増川の活性化を考える会」が、平成21年度に指定管理を受け現在に至る。今回はその更新をするものだ。

指定管理者制度とは、町が所管する公の施設について、管理、運営を民間事業者やその他の団体に、委託することができる制度である。公の施設の管理、運営に民間等のノウハウを導入することで、効率化を目指している。

補正 平成28年度補正予算の結果

会計名	補正額	補正後の予算額	採決の結果
一般会計(第7,8号)	3億1741万3千円	80億8857万円	全員賛成で可決
国民健康保険事業特別会計(第6号)	5223万2千円	14億5439万7千円	全員賛成で可決

陳情

陳情の名称	代表者	審査結果	採決の結果
「決議」並びに「監査機能の強化に関する陳情」について	徳島県町村監査委員協議会 会長 中川 富量	採択	全員賛成で可決
平成29年度「給与所得者に関する市町村税・道府県民税 特別徴収税額の決定・変更通知書(特別徴収義務者用)」への個人番号記載の中止を求める陳情	徳島県保険医協会 理事長 古川 民夫	採択	全員賛成で可決

人事案件

きょういく いんかい いんかい
教育委員会委員



にしむら ひろし
西村 博氏

5月17日を持って任期満了となるため、西村博氏(41歳・加茂)を再任することに同意しました。任期は4年です。



加茂公民館

総務課長

本町では、平成29年度に町の公共施設等について

これに基づき、将来的な財源の確保のために基金を設置し、公共施設の更新や大規模改修、また広域連合や一部事務組合の公共施設の整備に要する負担金に充てることを目的としている。なお、平成28年度一般会計補正予算(第8号)の中で、「公共施設等総合管理基金」へ1億円の積立金を計上している。

委員

どのような目的の基金創設なのか?

て固定資産台帳を整備し、今後の維持更新などについて基本計画(公共施設等総合管理計画)を策定した。

公共施設等総合管理基金条例を制定 公共施設などの維持更新などに

施設使用条例等を改正

使用料の公平性のために



ふれアリーナみよし



美濃田の淵テニスコート

委員

なぜ施設利用料を改定するのか。

生涯学習課長

合併時に定められた町の公民館・町立体育館・ふれアリーナみよし・小川谷運動公園・総合運動公園・農業者トレーニングセンター・学校施設の使用料は、町民と他市町村民の使用料金が一律である。合併後11年になるが料金の改定はされていない。

近年、消費税増税や電気料金の値上げなどにより、近隣市町村が施設利用料金を値上げしたために、町民以外の利用者が増加している。施設の維持管理費は、施設利用料と町の負担で賄われている。今回、使用料の公平性を図るため町内・町外の区分を設定し、町民以外の方にも適切な使用料を徴収するための条例の改正をする。

3月定例会における議案審議の賛否状況について

議案番号	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	氏名	三好正治	井添伸一	川原勝市	南雅彦	松浦明人	松浦敬治	安藤孝明	横関道恵	坂本健二	宮賢司	槇山幸一	坂本正一	長谷川吉正	加藤義博	川原正一	中川祐司
議6	平成29年度公共下水道事業特別会計当初予算	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議31	公共下水道事業受益者分担金徴収条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	×	○	○	○

※○=賛成、×=反対、退=退席 ※発=発議、陳=陳情、請=請願、諮=諮問 ※議案の名称は短縮してあります
※賛否の記述がないものは全員賛成です。 ※通常採決の場合7番安藤議長は採決に加わりません。

東みよし町議会では産業建設、教育厚生、総務の3常任委員会を設置しています。本会議から付託された議案などを3月8日、3月9日、3月10日に開催された各常任委員会で活発に審議しました。その主な内容を報告します。

総務
地域防災力の向上に
防災灯設置に728万円

委員 どのような防犯灯を、どれくらい設置するのか。

総務課長

雪害による倒木などで停電し、孤立した。その対策として、町では太陽光発電システムを備えた防犯灯を、山間部4か所（大藤地区2か所、奥村地区2か所）に設置した。



小学校跡地に設置された同タイプの防災灯



携帯電話の充電機能がついている

その後、*徳島県のと

※徳島県では、南海トラフ巨大地震及び活断層地震に備え、地震防災・減災対策を計画的かつ着実に推進することにより、被害を最小限に抑え「地震に強いとくしま」を実現するため、「とくしま0（ゼロ）作戦」地震対策行動計画を策定し、この計画に盛り込んだ各種施策の推進に全力で取り組んでいる。

総務
災害時の孤立対策に
ヘリポートの整備に500万円

委員 防災費の中で、整備工事請負費の500万円はどういう内容か。

総務課長

町では、災害時に孤立する可能性がある山間地域にヘリポートを逐次整備中である。現在、大藤、ハタ・法市・加



大藤のヘリポートに着陸する自衛隊のヘリコプター

茂山・男山の4ヶ所にヘリポートの整備が完了し、東山地区の岸上については造成工事が完了している。具体的な建設予定地は最終決定していないが、今年度新たに1か所のヘリポートを500万円で造成整備する。

産業建設
東
みよしブランドを創出に
隊員3名の報酬に773万円

委員 どのような隊員を募集しているのか。

産業課長

町では、地域の産品や素材を活用し、地域外人材の視点から新たな東みよしブランドを創出し、将来は当町での起業を目指す意欲あふれる人材を募集している。募集人員は3名で、



募集要項地域おこし協力隊

「デザイン力のある方」や「海外への進出・展開も考えているので」、「海外ビジネス経験のある方」、地域資源を活用した「ものづくり経験のある方」を地域おこし協力隊員として雇用する。3名の報酬773万円と、事務所備品購入費に204万円。

産業建設
創
業を目指す起業家を応援
起業創業支援補助金150万円

委員 起業創業支援金とはどういうものなのか。

産業課長

この事業は、町における雇用の拡大及び産業の振興や活性化を図ることを目的として、町内で新たに創業する者に対し新規創業に要する経費に対して予算の範囲内において補助金を交付する。50万円×3事業所。



起業創業支援補助要項

■対象者／町内で事業所等を経て新規創業する個人・法人
■対象経費／事務所等の増改築費、設備・備品費、広告宣伝費、試作費など
■補助金額／限度額50万円（補助率1/2）

産業
建設

町

の魅力や強みをアピール

観光DVD、看板制作委託料96万円



オアシスのステージで踊るみのだ連

産業課長 町の観光PRに使用するため、観光プロモーションDVDを作成する。例えば、教育旅行先として当町を選んでもらうために、DVDによって町の魅力や強みをアピールするツールとして使用することを想定している。東みよし町観光映像制作業務（修正・増版）ディスクプレス10000セット／42万2000円。

また、外国人観光客のための案内看板、観光用地図看板、及びバス停留所の看板に英語表記を追加し多言語化する。看板等各種表示物（英語併記）制作委託料54万円。

委員

観光用DVDとはどういふものなのか。

産業
建設

美

濃田の淵キャンプ村

業務運営囑託員賃金406万円



バンガロー14号棟

産業課長 美濃田の淵周辺施設の従来の管理体制では、複数の団体が維持管理に携わるなどして、利用者にとって利便性が低いものとなっていた。また、予約システムの煩わしさから、結果として利用機会を失ってしまい、収益に対してマイナス影響が働いていた。

そういった状況に対応するため、新たに管理・運営体制を整え、バンガローの14号を管理事務所にして、美濃田の淵周辺施設を一元管理することにした。囑託員を2名採用する。

委員

新しい美濃田の淵周辺施設の管理体制とはどういふものなのか。



展示会場

産業課長 町内の中小企業を支援するために、人材育成と販路開拓事業を実施する。

①中小企業人材育成事業 補助金20万円

町内の中小企業者が、技術力や経営力の強化を図るために行う「人材育

産業
建設

人

材育成や販路開拓のために 中小企業支援補助金100万円

委員 中小企業にどのような支援をするのか。

産業課長 町内の中小企業を支援するために、人材育成と販路開拓事業を実施する。

②見本市等出展支援事業 補助金80万円

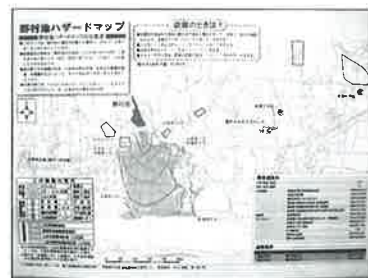
- 町内の中小企業者が販路開拓を目的に県外等で行われる見本市や展示会への出展に要する経費の一部を助成する制度である。国内20万円×2事業所、国外40万円×1事業所。
- 対象事業／県外で開催される見本市等
- 対象経費／出展小間料、物品の輸送経費等
- 補助額／国内20万円、国外40万円（補助率1/2）
- 対象事業／人材育成事業計画に基づく事業
- 対象経費／研修負担金、旅費等
- 補助金額／年額10万円（補助率1/2）

産業
建設

た

ため池ハザードマップ（仮称）

作成業務委託料300万円



美馬市野村池のハザードマップ



金川池

委員 ため池ハザードマップとはどういふものなのか。

産業課長 ため池ハザードマップは、自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化するものである。現在、町内のため池のハザードマップは存在せず、ため池のハザードマップの作成が急務となっている。

そのため、今回、三好南岸土地改良区の管轄である西庄池、貞広池、金川池について検討を行う。ハザードマップには到達時間や浸水深等を計算した上で、地域の情報を基に、避難場所や災害危険箇所を網羅した「東みよし町ため池ハザードマップ」を作成し、広報周知することで、平常時から広く町民の防災意識向上を図るとともに、災害時の減災対策として活用を図る。

視察報告

調査研究

DATA

神奈川県開成町

開成町は、東西1.7km、南北3.8kmで総面積6.55km²と神奈川県で一番小さな町ですが、交通の便に恵まれ、うるおいと高い利便性を兼ね備えた、暮らしやすい土地柄です。

人 口	1万7321人
世 帯 数	6381世帯
面 積	6.55平方キロメートル

議会運営委員会

議会運営委員会では、2月21日、22日にかけて議会運営に関する事例の調査、研究のため、議会改革などに早くから積極的に取り組んでいる先進地の神奈川県開成町議会を訪問し、視察研修を実施しました。



開成町での研修

開成町議会の取り組み

開成町議会より、副議長、議会運営委員長、議事事務局の2名の方に出席いただき、まず、開成町の概要、議会の概要、議会改革の歩みについてなどを詳細に説明いただきました。

開成町議会は、町の人口1万7000人に対して議員数が12名とかなり定数を削減しています。委員会は、総務経済常任委員会（6名）、教育民

所感

東みよし町議会では、合併時より議会改革に取り組み、現在では議会改革特別委員会を設置しています。委員全員で、今後も円滑な議会運営のため積極的に議会運営に関する調査研究に取り組んでいく旨を確認し、研修を終えました。

生常任委員会（5名）と11名が参加する広報公聴常任委員会を設置しています。町政50周年記念事業として、日曜議会の開催、平成18年より常任委員会複数所属制度の導入、平成20年には、16章からなる議会運営に関する基準の制定、また、開成町議会、改革宣言を発表し、平成21年には町長に逆質問権の付与をしています。また、平成21年より、議会報告会を開催し、平成22年議会基本条例を施行し、平成27年より通年議会をスタートしているとのことでした。

その後、質疑応答を行い、我々の質問に対し丁寧な回答をいただきました。

みよし広域連合議会

2月28日（火）、消防・ごみ・し尿処理や介護保険事業業務などを行うみよし広域連合議会（三好市と東みよし町で構成）が、みよし浄化センターで開催され、平成29年度の当初予算が決まりました。

8000円となりました。

一般会計の、東みよし町の負担は5億996万6000円で、介護保険特別会計の負担は2億6239万



老朽化した焼却場

会計名	予算額	前年度比増減
一般会計	16億2098万5000円	1億1682万円
介護保険特別会計	63億3922万3000円	9275万円
三好地区広域振興整備事業特別会計	1767万2000円	167万4000円

三好東部火葬場組合議会

2月9日（木）、三好東部火葬場管理組合議会（三好市（旧三野町・旧井川町）と東みよし町）で構成する三好東部火葬場組合議会が開催されました。

円を負担することになりました。※分担金額は、平成27年の国勢調査人口で負担割合を算出しています。

予算の総額は1510万円となり、その中で使用料、繰越金、諸収入を除いた残りの分担金1200万円を三好市が425万6000円、東みよし町が774万4000



東部火葬場

市

町村設置型合併処理浄化槽整備 今後とも検討等が必要

下水道等環境問題特別委員会

委員長 川原勝市

受益者分担金

平成29年3月9日、午前10時30分より委員会を開催しました。



下水道工事

下水道事業受益者分担金の還付については、平成29年3月1日現在、還付対象件数108件で、還付対象予定額は300万5000円。内訳は、還付希望有りの39件／1045万円はすでに還付を終わっており、希望無しが28件／770万円、今後接続予定の方が6件／162万5000円。残り9件の還付予定額が270万円あり、不在等で確認が出来ない家庭については、日曜、休日、早朝、夜間等の訪問及びホームページ、広報誌、郵送等を通じて周知を徹底し、意思確認を早急に実施するよう求め

る意見が委員よりありました。

条例の改正

公共下水道事業分担金徴収条例の改正については、分担金の賦課をするとき、同一宅地内に複数の建物があり、一部の建物のみ接続する場合を追記する。分担金の賦課基準日については、供用開始の告示日となっているが、現在の運用では、接続時となっているのを、告示日以降において下水道管渠に接続工事を完了した時に改正するのと。

経過報告

平成28年度の三好地区の整備状況は、事業計画120ヘクタール、人口2900人、整備率89.9%。供用開始人口2777人で、使用者1818人、使用率は65.47%。官渠敷設工事3400万円は、町道ヨシ廻り久保線などを施工したとのこと。

また、分担金納付済みで、未接続の土地を所有する受益者から還付請求があった場合、還付できないよう改正する。奨励金については、計画加入促

市町村設置型 合併処理 浄化槽整備

PFI方式による市町

村設置型合併処理浄化槽整備について、市町村整備型で民間の手法、資金を活用したPFI方式についての資料に基づき説明を受けました。

例えば5人槽を設置すると、環境省の標準公示価格は83万7000円で、個人が設置すると約50万円の負担となるが、市町村設置型で施行すると設置者の個人負担額は1割程度の約8万円と安く設置できる。

しかし、この市町村型PFIは、設置者に長期にわたり、毎月使用料を収めなくてはならず、市町村は投資した費用を回収するのが長期になるため、公共下水道の料金との兼ね合い等もあるため今後検討等も必要であるとの意見が出ました。

美馬三好郡 町議会議員 研修会

3/25

議会議員の
スキルアップの
ために

3月25日(土)、つるぎ町の「慶生殿」たにがわで、平成28年度美馬三好郡町議会議員研修会が開催されました。参議院議員財務政務官の三木亨氏の「日本の財政を考える」と題しての講演があり、今後の議会活動に活かすべく熱心に拝聴しました。



講演する三木 亨氏

7 議員

16項目の質問を行い、町の考えをたずねました。

まちの考えを問う

一般質問

高齢者等の移動手段の確保を

企画課長 ▼ 運転免許証自主返納者への割引を検討



みよし まさはる 三好 正治 議員

生きがいを持って生活するために、移動手段を確保する取り組みについて、

- ①平成26年度の高齢者移送バス利用者のアンケート結果により、要綱を変更したのか。
- ②町営バスの高齢者（75歳以上）割引前後の利用者数は、また、高齢ドライバー（65歳以上）が、運転免許を自主返納した時に割引制度を考えてはどうか。
- ③四国交通の西谷線の西谷橋〜町役場間の、一日当たりの利用者数は。
- ④町営バスと三好市市営バス利用者の利便性を図るために、乗降制限を解消した一体的な運行を考えては。
- ⑤高齢者移送サービス対象地域以外の全域に、デマ

三好

通院や買い物、また、

教養講座等の各種講演会、イベントに参加する移動手段がないとの声を高齢者、障がい者等の方々や介護の現場から多く聞く。住み慣れた地域で日常生活を維持して、安心して、



運転免許の自主返納

④町営バスと三好市市営バス利用者の利便性を図るために、乗降制限を解消した一体的な運行を考えては。

⑤高齢者移送サービス対象地域以外の全域に、デマ

ドバスを運行してはどうか。

福祉課長

①アンケート結果は、利用回数は65%以上、利用日については80%近くの方が満足している。財政面、道路状況、時間的な課題もあるので、利用者の希望に添えるよう協議を行っていく。

企画課長

②若干利用者数も運賃収入も増えている。また、運転免許証自主返納者への町営バス割引制度の導入については、前向きに検討したい。

③利用者数は、西谷橋から町役場間に乗車された方が8人、西谷橋方面に乗車された方が6人、6日と10日の2日間は乗車がなかった。

④乗降制限を無くせないのは、町営バスの運賃収入のほとんどが通学定期

料金であり、市営バスと定期料金の大きな違いがネックとなつて解決できない。

⑤デマンドバスは、非常に経費も掛かるので、

今後の検討課題と考えている。なお、現在の福祉バスの運行を拡充していくことが、現段階では効果的と思っ

放課後等デイサービスとは

福祉課長 ▼ 養育機能と居場所機能を備えた福祉サービス

三好

町内に2か所、障害者支援事業・放課後等デイサービスの施設ができていますが、どのような施設なのか。また、現在の利用者数は。

利用されている児童数については、3月1日現在で放課後デイサービスが7名、児童発達支援が17名。

福祉課長

小学校、中学校、高等学校に就学している6歳〜18歳までの障がいのある子どもや発達に特性のある子どもが、放課後や夏



放課後デイサービス「エール」

庁舎統合問題について

町長 ▼ 庁舎は1つにするべき



なかがわ ゆうじ 議員 中川 祐司

中川

庁舎統合問題について

では、本年2月1日から17日までに実施されたアンケート調査によって広く町民の皆さんに周知することになり、三好庁舎がある昼間地区や山間部の皆さんには深く関心を



三加茂庁舎

寄せられる結果となった。

庁舎については、合併当初から既存の庁舎を活用した分庁方式を採用し、旧三加茂町役場を本庁舎、旧三好町役場を総合窓口と5つの事業課を配置した分庁舎に、そして中央公民館に教育委員会を設置し、今日に至っている。このような経緯を踏まえ、川原町長に庁舎統合についての考えを改めて聞く。

町長

将来の行政組織のあり方なり、あるいは住民サービスを含む行政運営の効率性を考えると、やはり庁舎は1つにするべきと思っている。

中川

できるなら、現在の分庁方式でいけたらいいと思うが、町財政の問題とか、効率化など具体



三好庁舎

的な数字が出てきたときには、賛成なり反対意見を言わせていただく。アンケート調査の結果を踏まえて、今後この議論をどのように踏まえて高めていくのか。

参事

アンケートの内容を

まず整理をした上で、まずは庁舎の統合の可否について議員に相談したいと考えている。その上で、庁舎を統合するとすれば、平成29年度中にも現庁舎の課題とか、効果、規模、そういった具体的な案について、専門事業者の方に委託をして数字的なものを出していく。基本的な計画を作成したい。

この基本計画ができた段階で、議員、あるいは

住民の皆さんに示して、議会、通常であれば特別委員会等立ち上げていただいて、議論をしていただくという形をとるべきだろうと考えている。

それから、庁舎の統合に合わせて、教育委員会事務局が入っている中央公民館や、三好庁舎の空きスペースの活用方針は議員とともに検討、議論をしていき、最終的には住民の方々にご披露したい。

防災倉庫の鍵は誰が持つ

町長 ▶ 複数の方に許可する



加茂小学校体育館の防災倉庫

中川

他町の事例で、夜間に発生した災害において、防災倉庫の鍵管理者が役所担当部署と学校管理者が鍵を管理していたため、いつまでも開けられなかったということがあった。このようなことから、加茂小学校、三好小学校、足代小学校の体育館の防災倉庫の鍵は、直接の管理者(総務課)と、小学校及び地区を管轄する消防分団長や地域の防災組織に渡しおけば、非常時にはすぐに対応できるのではないか。

町長

備えあつても施錠されたままとか、使う方がいなければ何の役にも立たない。複数の方に防災倉庫の開閉の許可を与えるとともに、訓練も複数の方にさせていただいて、その避難機器の使用については、多数の方が使えるような状況にしていきたい。

三好庁舎に残る機能は

参事 ▼ 多くの業務を取り扱う



坂本 健二議員

たときに、三好の役場は無くなるのか、どうなるのか、などの質問があった。三好庁舎を三加茂庁舎に統合するとすると、三好庁舎はどういうことになるのか。

坂本

今年1月の老人会の新年会などの会合があった

参事

現状でも三加茂庁舎の課の業務である各課の

使用料、手数料、負担金など、こういった収納などを総合窓口で行っている、各種受付や住民票の発行、また諸証明、こういったものの発行も行っている。仮りに、三好庁舎を三加茂



総合窓口

としたり、支所機能を残して現在の総合の窓口を残すことになる。こういった業務については、より以上に統合、充実をさせていくべきだと思ふ。また、統合した場合、三好庁舎にある環境課などの5つの課の業務についても、できるだけ多くの業務を三好庁舎で取り扱えるように図っていくのが統合についての前提条件になる。

中央公民館の今後は

町長 ▶ 昼間の公民館を建てるべき



公民館活動 料理教室

坂本

中央公民館の年間の利用数はどのくらいか。また、耐震強度は大丈夫なのか？
もし、耐震補強するのであれば、どれぐらいの費用がかかるのか？

生涯学習課長

中央公民館の年間利用件数は972件で、月平均81件の団体の方が利用している。昭和53年10月に建築し、いわゆる昭和56年以前の旧耐震基準建物耐震化を満たしていない。耐震改修費用は1億円程度で、近年の物価、人件費、消費税等の高騰

坂本

耐震化ができていないなら、中央公民館を取り壊して安全な昼間の公民館を建ててはどうか。

町長

旧小学校校区を1つの単位として、町内には公民館が11校区それぞれにある。中央公民館を解体すれば、昼間の公民館を建てるべきと考えているが、あくまで仮説の話で、今後の協議の中で図りたい。



中央公民館

本町の耕作放棄地面積は

産業課長 ▼ 170ヘクタールで農地の14%



主任 横山 幸一 議員

横山

最近、農業では高齢

化して、担い手というか、若い人の跡継ぎがない。稲作については、米の1人当たりの消費量は50年で半減して、価格は20年



耕作放棄地の現況

余りで4割安い。農薬や市場は高く、採算面から言うと余り利益は上がらないので、専業農家の方でも必死で生きているような状況だ。町内の田畑は、トラクターだけで耕して自己保全管理が相当多いと思う。

そこで、水田や畑や中山間で耕作放棄地は、徳島県全体では約4600ヘクタールということだが、本町に放棄地はどれぐらいの面積があるのか。

委員会で、年に1回パトリールして、啓発してはどうか。

産業課長

本町の耕作放棄地は

170ヘクタールで、町全体の農地では14%に当たる。町内全体でいえば、1%が耕作放棄地になる。

横山

耕作放棄地対策について、町はどのように取り組んでいるのか。農業

委員会では、所有者に対して農地中間管理機構に貸す意思があるかを確認することを始めている。そういう方は産業課にお越しただいて、相談していただきたい。

今後、農地を有効利用する方法とか、この町で育てることが可能な農地の活用、集積化を進めるということ、JAからも要望がある。また、農業法人、地元事業者なども連携したい。

県も「農の宝島！とくしま」と門戸を広げて、担い手確保に力を入れている。町も、ホームページで新規就農情報を発信して、この町へ来たいなという人があれば、空き家を1軒ぐらい改修して、泊まって農業の体験できるような事業をしてみてもどうか。

耕作地が生まれる1つの原因としては、農地の所有者が意図的に耕作を放棄しているとは限ら

産業課長

耕作地が生まれる1つの原因としては、農地の所有者が意図的に耕作を放棄しているとは限ら

ない。それで耕作したくても耕作できない人から生まれる耕作放棄地がより深刻である。

相続が完了していない農地については、農地の貸し借りなどの制度の活用は難しい。それで農業委員会では、所有者に対して農地中間管理機構に貸す意思があるかを確認することを始めている。そういう方は産業課にお越しただいて、相談していただきたい。

今後、農地を有効利用する方法とか、この町で育てることが可能な農地の活用、集積化を進めるということ、JAからも要望がある。また、農業法人、地元事業者なども連携したい。

新たに農業を始めたい若い世代の人に、150万円を支給するという制度がある。平成26年度には1名、平成28年度に1名、平成29年度にもう1名就農しようかという方が相談に来ている。新規就農者を増やすために今後、周知を図りたい。

耕作地が生まれる1つの原因としては、農地の所有者が意図的に耕作を放棄しているとは限ら

ない。それで耕作したくても耕作できない人から生まれる耕作放棄地がより深刻である。

相続が完了していない農地については、農地の貸し借りなどの制度の活用は難しい。それで農業委員会では、所有者に対して農地中間管理機構に貸す意思があるかを確認することを始めている。そういう方は産業課にお越しただいて、相談していただきたい。

議会放送を見るには

東みよし町の議会放送は、テレビ徳島に加入しているお宅のテレビでご覧いただけます。デジタル放送の場合は、※122チャンネルで、アナログテレビの場合は地上デジタル放送用のチューナーを接続していただければご覧いただけます。

ばご覧いただけます。議会放送は、年4回開催される開会日と閉会日の本議場の様子を生放送と録画での再放送を行っています。議員の一般質問や町の財政、方針がどのように決められていくのかを是非ご覧ください。

操作方法

- ※①リモコンで12チャンネルを押す
- ※②選局ボタンの「へ」を押す。

注) メーカーによって操作方法が違つので、ご注意ください。

- ①12チャンネルボタンを押す
- ②選局ボタンを押す



高齢者の運転免許証の自主返納数は

企画課長 ▼平成28年は27人が返納



はせがわよしまさ 長谷川吉正議員

進んでいる。町内での自主返納数は把握しているのか。
また、自主返納に対して、町独自のサービスを考えているのか。

長谷川

最近、高齢者の方が

運転中にアクセルとブレーキを踏み間違えた事故が多発し、高齢者の運転免許証の自主返納が促

企画課長

平成28年には、27人が

が自主返納し、15人が運転経歴証明書の交付を受けた。なお、運転経歴証明書は、運転免許証にかわる身分証明書や本人確認の際、一生涯使用することができる。



運転に自信がなくなった

家族から「運転が心配」と言われた

	自主返納数	証明書発行数
平成23年	8人	0
平成24年	3人	0
平成25年	4人	1人
平成26年	12人	2人
平成27年	15人	1人
平成28年	27人	15人

四国交通をはじめ、各交通機関では、証明書を提示すれば、運賃が半額になるサービスも実施されている。本町では、運転経歴証明書をお持ちの方への町営バスの運賃半額、年齢に関係なく実施したい。

ふるさと納税の返礼品は

総務課長 ▶ 2千円以内で複数追加を



返礼品カタログ

長谷川

ふるさと納税については、返礼品代（返礼品調達費）が寄付額の60%を占めた石井町から、神山町の返礼品無しのところもあるが、本町の現状をどのように思うか。

総務課長

本町のふるさと納税額の実績は、寄付額では県内14番目の217万円、返礼品調達費は23番目の1万9500円だった。返礼品調達費が多いほど寄付が多いという結果になっている。

本町の返礼品は、2000円以内のオアシスクーポン券のみであり、寄付をしてくれる方は、返礼品目的でなく、本来の趣旨であるお世話になったふるさと自治体への寄付という考えで、本来の趣旨に沿った取り組みの結果ではないかと考えている。

長谷川

今後、返礼品の変更等は考えていないのか。

総務課長

今後は、観光などのPRにより東みよし町への共感を得る努力、さらに、2000円以内で調達できる返礼品の追加などにより納税額アップを考

プロパンガス発電機の活用は

企画課長 ▼複数導入を検討中

プロパン

いる。

プロパンガス発電機は、ガソリンエンジンよりかかりやすく、費用が安いと言われていた。小規模な非常用発電機として活用を考えるとどうか。

総務課長

プロパンガス発電機の導入については、検討を進めている。災害時の電源確保については、現在、常用発電機はガソリン燃料のみで、電源確保の方法としては、複数あるのが望ましいと思っ

プロパンガスは、かかりやすく、劣化せず、それと各家庭に備蓄があり、燃料の確保が容易などのメリットもあるため、何機か導入を進めたい。

その他の質問

地域包括ケアの取り組みは

福祉課長

通いの場合は三加茂地区で2カ所



プロパンガス発電機

災害・救急時安心カードの掲載を

健康づくり課長 ▼ 年に1度は広報へ掲載する



よこせき 横関 道恵 議員

横関

いつ起こるかもわからない大地震や自然災害、また病気や事故に備え、災害救急時安心カード（投薬種類・緊急連絡先・アレルギーなどを記載）を携帯することで、いざという時に大変役に立つカードの普及啓発を広



災害時安心カード

報誌に掲載してから5年の月日が流れ、状況が変化している人も少なくない。緊急時の備えを確認することは、自身の命を守る事にもつながる。毎年、自身の情報を見直す機会を提供するために年に1度、年度替わりの4月頃に町の広報に情報を掲載してはどうか。

健康づくり課長

災害救急時安心カードを作成し、現在も三好茂庁舎と三好庁舎の窓口を設置するとともに、町のホームページから様式をダウンロードし、家庭でプリントすることができるとしている。

また、2012年5月号の広報に掲載をし、周知を図った。しかし、それ以後は広報への掲載はできていないのが実情だ。1年に1度は広報への掲載をし、効果的な時期を捉え普及啓発を推進したい。

子供医療助成を高校3年生まで

町長 ▶ 本年4月1日から開始



横関

本町の子どもはぐくみ医療助成事業では、中学校3年生までが医療費の助成対象になり、保護者から大変喜ばれている。

町長は、昨年の12月定例会開会時に、医療費補助を高校生まで視野に入れたいと発言をされた。そして、本日の議案第20号で、医療費の助成対象を高校卒業までとする条例改正案が提出された。このことについて、町長に説明を求めたい。

町長

これまでの経過を見ると、県においては小学校まで助成というところであったが、昨年の暮れあたりから、県においても中学まで助成するという話を聞いた。既に本町では中学校まで助成対象にしていたが、一歩先へということで、今回高校生まで延長する計画にしている。本年、4月1日から開始をさせていただきたい。

高校3年生まで延長ということで、予算の上では700万円余りの費用がかかる。それに関連して、システムの改修費用の専決処分をお願いしたい。

入学時前の就学支援を

学校教育課長 ▼ 援助することは難しい

横関

就学援助事業は、経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者を対象に、経済的負担を軽減するための必要な経費を一部負担する事業である。

児童生徒が入学する前に、学用品などを新たに買いそろえる必要がある。そこで、何かと経済的に大きな負担がかかる入学時前の援助はできないものか。

また、これは小中学校に通っている生徒の保護者を対象にしており、高校生の保護者は対象になっていない。高校入学時まで拡大することはできないか。

福祉課長

要保護児童については、県による生活保護の支給決定を受けた世帯の児童が対象になる。県が実施しているので、原則として町としては対応することができない。

通常は毎月教育扶助が支給され、あと小学校入学前の3月、中学

校入学前の3月には、入学準備金的な教育扶助が支給されている。小学校4年生の進級前の3月には、被服費的な教育扶助が支給されている。

また、高校生になると、生業扶助として、毎月定額の教育費が支給される。また、入学時、新学級時などは制服、教科書代などの領収書によって実費が支給されている。

学校教育課長

準要保護者については、町が就学援助として新入学生用品を小学校1万円、中学校1万2000円を支給している。入学後の申請の手続、前年度の町民課税状況で審査を行うために、進入学用品を入学前に支給することは難しい。

なお、町が行っている就学援助は、学齢児童生徒、小学校、中学校を対象にしたものであり、高校生は対象となっていない。

筆界未定地を解決しては

総務課長 ▼ 検討しては



いそえ しんいち 井添 伸一 議員

筆界未定地を解決してはどうか。

総務課長

筆界未定地があると
いうことで、一部さわれないような土地があるという
ことであれば、町の

管理になるが、当時の地権者あるいは相続人の方に連絡がとれれば、境界確定についても検討していきたい。その後、利用については考えていきたい。

井添

足代の末広地区には、

1.5ヘクタールの筆界未定地がある。その面積が余りにも大きく、90%以上が町有地である。南側に築30年の町営住宅があり、中央にワークサポートやまなみがあり、北側にも町営住宅がある。建てられてから62年が過ぎ、現在12軒ある。そのうち、7軒は空き家となっている。このような、通り抜けができない危険な空き家を解体して、道路の整備ができないものか。若者定住住宅も考えられる。



末広地区

コミュニティバスの運行を

町長 ▶ 厳しい財政状況では難しい



コミュニティバス(例)

井添

町営バスで、三三大橋から池田まで行き、折り返してきた。運賃は1200円だった。町営バスは、1日に往復80人前後の方が学生を中心に利用しているようだ。残りの利用者の方は、主に三好病院に行かれる方と、私用で池田まで出かける方がいるようだ。

町営バスも半分は赤字で運行しているのもわかるが、利用者の立場にたつて、運賃の値下げや運行数の増便などを今一度考えてほしい。そこで、現在の町営バスの収支状況を聞きたい。

企画課長

合併する前は、運賃収入が1000万円近くあったが、合併したところには800万円なり、だんだん減ってきている。

現在、年間予算は1600万円ほどで、県からの補助金が200万円程度。運賃収入が、現在600万円程度ある。そういうことも考え、いろいろな方々に乗車いただくのが一番ということだ。

井添

これからの住民の交通手段として、三好地区の集会所ごとに約40分間隔で運行し、一律200円の低料金で回れるようなコミュニティバスを運行してみてもどうか。コミュニティバスを利用するまちづくりをしてはどうか。

町長

本町の将来人口の推移の中で、高齢者は最高が5200人ぐらいになる。そういった中でこのコミュニティバスを安く運行すれば、使用される方には喜んでいただけるということですが、効果、採算、これを考えたらどうだろうか。私自身は、町が豊かな財政をもって今後ずっといけるのであれば実施してもいいと思うが、厳しくなる財政の中で、40分置きにバスを運行というのは難しいと思う。

追跡 あの質問は どうなった?

議員の質問や提言が、町政にどのように反映されているのかを、これまでの質問の中から一部を取り上げ追跡・検証してみました。

- 平成25年第4回定例会（12月議会） 質問者：中川祐司議員
- 平成27年第4回定例会（12月議会） 質問者：井添伸一議員
- 平成29年第1回定例会（3月議会） 質問者：長谷川吉正議員

問 オアシスのクーポン券だけではなく、町の特産品も選べるように、ふるさと納税の返礼品を拡大してはどうか。

答 寄付をしてくれた方の心情も考えながら、返礼品やその方法について再考したい。

その後

平成29年4月1日より、返礼品の改正をしました。



3千円以上
3万円未満



3万円以上

- ・寄付金額が5000円以上3万円未満の方は、吉野川オアシスのクーポン券1000円か、同等金額の特産品5種類の中から1つ選べます。
- ・寄付金額が3万円以上の方は、吉野川オアシスのクーポン券2000円か、同等金額の特産品5種類の中から1つ選べます。



なかがわ ゆきえ
中川 雪絵 局長補佐



たにふじ のぼる
谷藤 昇 局長

4月1日付けの人事異動で、谷藤昇さん（前税務課）が議会事務局局長として来られました。また、昨年の4月の異動で議会事務局に來られ、事務作業をしていた中川雪絵さんを紹介しています。



議会を傍聴
しませんか

皆さんが選んだ代表が
議場でどんな発言をして
いるのか自分の目と耳で
お確かめください。

どうぞお気軽にお越し
ください。

定例会は年4回(3月・
6月・9月・12月)に開か
れます。

日程・手続き等は議会
事務局へお問い合わせく
ださい。

TEL 82-6317



次の定例会は
6月中旬です。

テレビ放送を予定しています。

表紙の写真



4月11日(火)、可愛らしい定代
小学校の新1年生が横断歩道の渡
り方を三好地域交通安全活動推
進委員の方に教わっていました。

まちの



●シリーズ35●

仲良し

東みよし町のファミリー

池田町育ちの伸吾さんと、東みよし町育
ちの智美さんは平成23年に結婚しました。



加地ファミリーの紹介

パパ しんご 伸吾さん(30歳)
ママ ともみ 智美さん(30歳)
けいた 慶多くん(3歳)
どうま 統真くん(1歳)

問

二人の知り合ったきっかけは?

共通の友人に遊びに誘われて、
知り合いました。

問

お互いのどこに魅力を感じましたか?

しんご
伸吾さん:

思いやりがあって優しいところ。

ともみ
智美さん:

とにかく優しく、一緒にいて
落ち着くところ♥

問

町での生活はどうですか?

周りの人が、気さくに声を掛けて
くれて、楽しく暮らしています。

問

町に望むことはありますか?

しんご
伸吾さん:

公園とか子供と遊んだりできる
ところが、もっとあればいいと
思います。

ともみ
智美さん:

とにかく子育てしやすい環境に
してほしいです。

編集後記

▼庁舎の統合についてのアンケート調査が
2月に実施されました。議会はそのアン
ケート結果に基づき、まず、庁舎統合の可
否について早急に結論を出し、庁舎統合と
なれば、財源、三好地域の住民サービスの
維持等々について、検討・議論を尽くし、
納得がいく結論を出したいと考えていま
す。

▼今、町は何をしているのか、議会は何を
議論しているのか、町民の皆さんに分かり
やすくお伝え出来るよう編集に努めており
ます。これからも皆さんに親しまれる「議
会だより」を目指してまいります。

広報特別委員会

副委員長 三好 正治